

第3節 災害とのたたかい

1. 災害史

宇治川流域は全国でも有数の浸水被害の多発地帯です。災害の歴史を遡ると、江戸時代に土佐で書かれた『真覚寺日記』には、慶応元年(1865年)に発生した仁淀川洪水についての記述が残されています。

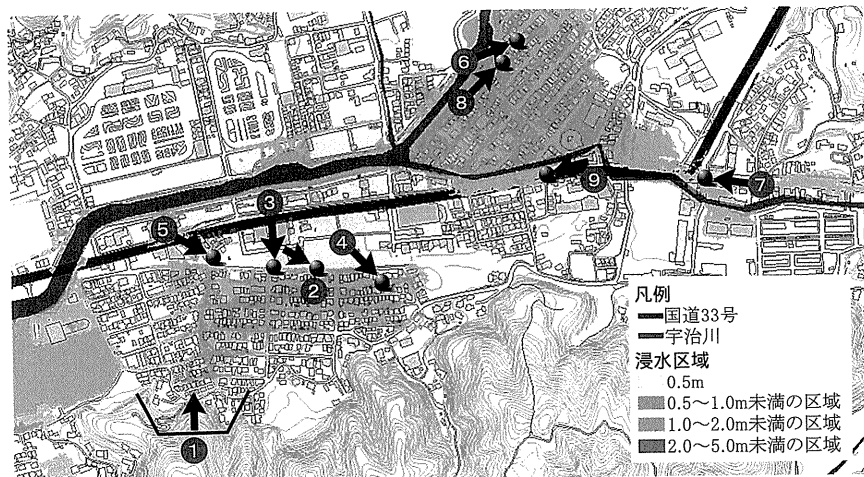
台風による洪水はその後も頻繁に発生し、明治、大正、昭和と浸水被害は繰り返されました。昭和50年の台風5号による大洪水は、災害史に残る甚大な被害をもたらし、地盤の低い所では浸水が3mにも達して平地部の約90%が水に浸かりました。

宇治川流域は、昭和50年以降も相次いで水害に見舞われ、生活幹線である国道33号や土佐電鉄(路面電車軌道)がしばしば冠水し、平成16年までの30年間で浸水被害は延べ38回、延べ浸水



① 昭和50年8月17日 台風5号
床上浸水1,324戸、床下浸水1,400戸

家屋は約7,000戸にも及んでいます。平成5年には1年間で5回も浸水し、なかでも11月には約200戸が浸水する大きな氾濫災害を被り、新事業として「床上浸水対策特別緊急事業」が採択される契機となりました。



浸水被害写真の位置図



② 昭和60年9月23日 床上浸水16戸、床下浸水60戸



③ 平成2年6月9日 床上浸水36戸、床下浸水69戸



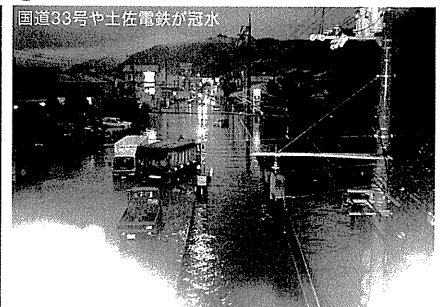
④ 平成5年7月28日 床上浸水14戸、床下浸水94戸



⑤ 平成5年11月12日 床上浸水90戸、床下浸水119戸



⑥ 平成11年6月29日 床上浸水32戸、床下浸水93戸



⑦ 平成14年9月2日 台風15号 床上浸水91戸、床下浸水221戸



⑧ 平成16年8月1日 台風10号 床上浸水49戸、床下浸水176戸



⑨ 平成16年10月20日 床上浸水50戸、床下浸水150戸

資料出典：浸水戸数は、市の総務課資料

2. 災害への対応

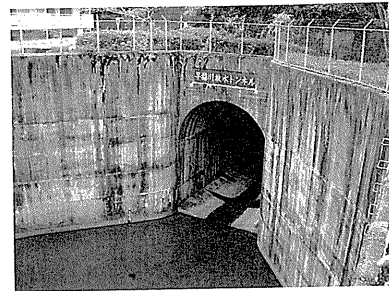
宇治川の河川改修は、昭和21年の南海地震を契機に、地盤沈下対策事業として宇治川放水路が高知県により昭和38年に設置され、昭和46年より河道の一次改修に着手しました。

その後、昭和48年度に仁淀川合流点から2.9km区間が直轄に編入され(翌年3.3kmまで延伸)、本格的な河川改修が行われました。特に、昭和50年8月の大水害によって激甚災害対策特別緊急事業に採択された後は、集中的に治水事業が行われ、宇治川排水ポンプの増設(20m³/s)と暫定的な河川改修が完了しています。

また、直轄区間においては、平成4年度より1.2kmから2.8km間の河道が、多自然型河川工法によって拡幅されました。

その他にも、伊野商業高校のグラウンド地下には、呑呑雨水貯留施設と呼ばれる貯留槽が伊野町(当時)により整備され、大雨の際には流れを一時ここに貯めることができるようになっています。

このように、宇治川流域の災害対策は様々な方法で推進されてきましたが、地形的要因や流域の急激な都市化による遊水・保水機能の低下等により、

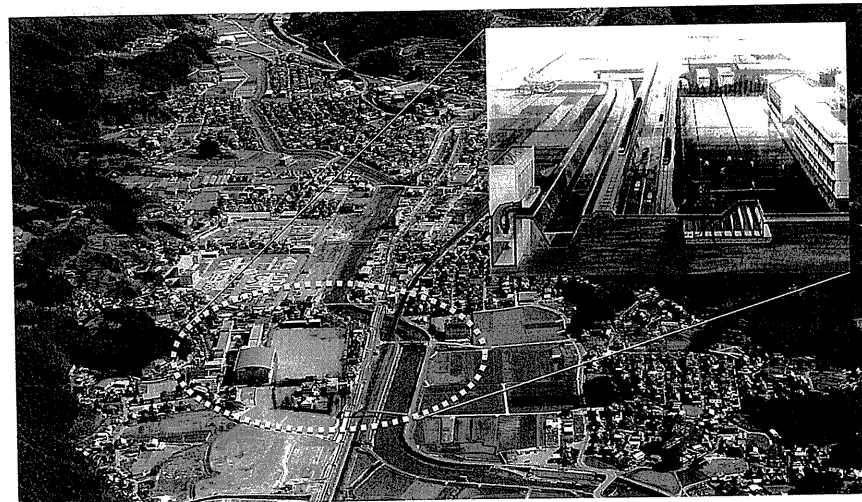


④ さいだがわ 早稲川放水路

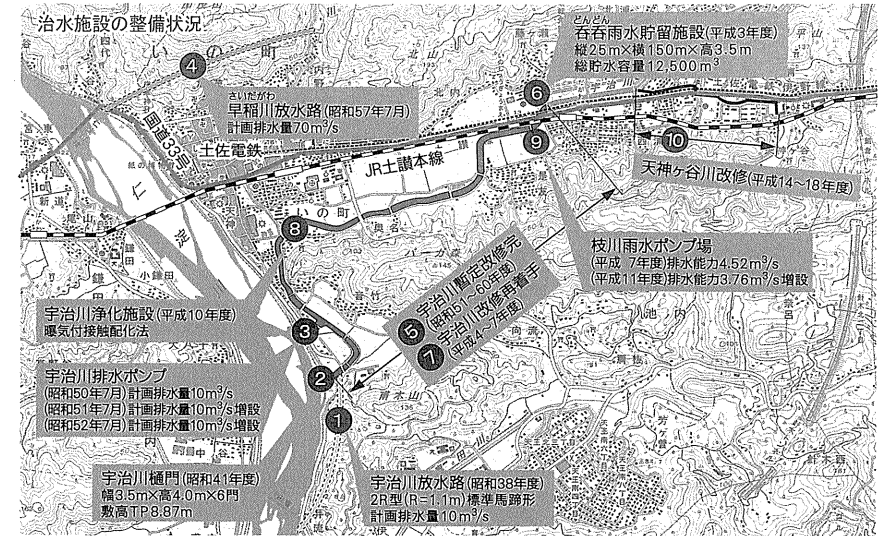


⑨ 枝川雨水ポンプ場

浸水被害は依然として解消されていません。町民が安心して暮らせる、より高い治水安全度を確保するために、抜本的な治水対策として新宇治川放水路事業が必要となりました。



⑥ 伊野商業高校のグラウンド地下の呑呑雨水貯留施設



治水施設の整備状況(宇治川床上浸水対策特別緊急事業以外)

年度	治水施設	計画諸元	事業名	備考
昭和38年度	① 宇治川放水路	2R型(R=1.1m)標準馬蹄形 計画排水量10m ³ /s	地盤沈下 対策事業	
昭和41年度	② 宇治川樋門	幅3.5m×高4.0m×6門 敷高TP8.87m	直轄河川 改修事業	
昭和50年7月	③ 宇治川 排水ポンプ	計画排水量10m ³ /s	直轄河川 改修事業	S50.8台風5号による 大水害により激特事業に採択
昭和51年7月	③ 宇治川 排水ポンプ増設	計画排水量10m ³ /s増設 (合計20m ³ /s)	激特事業 (直轄)	
昭和52年7月	③ 宇治川 排水ポンプ増設	計画排水量10m ³ /s増設 (合計30m ³ /s)	激特事業 (直轄)	
昭和57年7月	④ さいだがわ 早稲川放水路	計画排水量70m ³ /s	激特事業 (補助)	
昭和51年度 ～60年度	⑤ 宇治川 暫定改修完	T≒1/5(R≒30mm/hr)	直轄河川 改修事業	L=3.3km L=2.9km S55完
平成3年度	⑥ 呑呑 雨水貯留施設	縦25m×横150m×高3.5m 総貯水容量12,500m ³	広域都市 下水道事業(補助・町)	
平成4年度 ～7年度	⑦ 宇治川 改修再着手	L≒1.3km	直轄河川 改修事業	自然型川づくりによる 河道改修
平成10年度	⑧ 宇治川 浄化施設	曝気付 接触配化法	直轄河川 環境整備事業	水浄化施設
平成7年度 平成11年度	⑨ 枝川雨水 ポンプ場	排水能力4.52m ³ /s 排水能力3.76m ³ /s増設	広域都市 下水道事業(補助・町)	
平成14年度 ～18年度	⑩ 天神ヶ谷川 改修	L=1.0km	災害助成事業 (補助・県)	